

週寫眞報

編輯局報情
第七十號四百三第・日二十月一

土地改良で食糧増産だ



昭和十九年一月二十日 第三四四號 第三四四號 第三四四號



飯の中にいまだ脱せざる穀粒あるが如きは手を以て殻を去つて食せよ」と、道元禪師は、足らざるをいひ、節するを知らざる者へさとされた

開や買出して自分たちだけ豊かに食べたがる人たちに日本の有難さ、良さが、味はへるだらうか凍土に立ち、濕田に入り、汗と泥土にまみれて食糧増産をつぶける農村の現実を食事のたびにしみじみと味はつてみることで食物のことは、それから話にしよう

忠魂に我等おくれじ

タラワ、マキン守備隊玉碎す



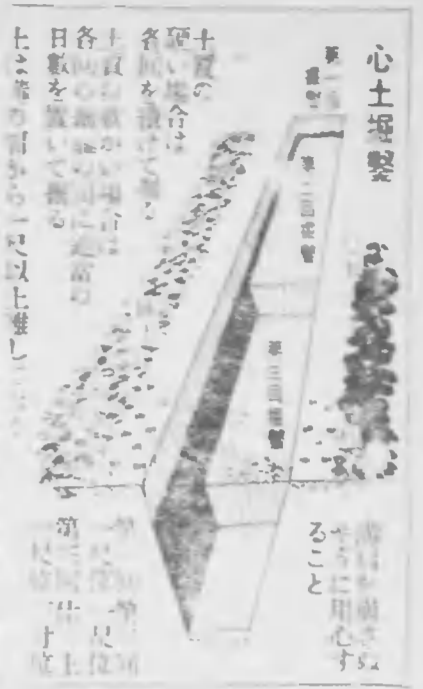
大本營発表

(昭和十八年十二月二十日十五時十五分)

「タラワ、馬及び「マキン」島守備の帝國海軍陸戦隊は十一月二十一日以來三千の寡兵を以て五万余の敵上陸軍を邀撃、熾烈執拗なる敵機の銃撃及び艦砲射撃に抗し、連日奮戦、我に倍する大損害を與へつゝ、敵の有力なる機動部隊を誘引して友軍の海空作戦に至大の寄與をなし、十一月二十五日最後の突撃を敢行、全員玉碎せり
指揮官は海軍少將柴崎憲次なり
なほ兩島に於て守備部隊に終始協力奮戦せし軍屬約一千五百名もまた全員玉碎せり

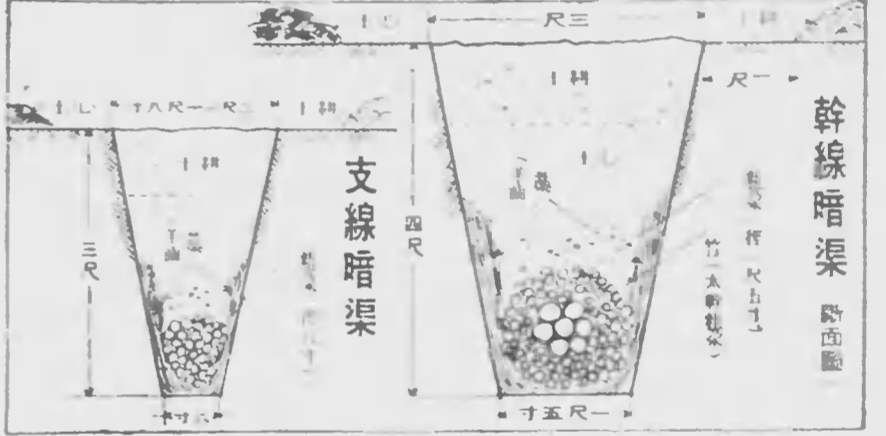
↑
最前線の柴崎少將を偲ぶ
藤田嗣治畫

「時の立札」は艦へ轉載その他に御利用下さい



(圖五第)

尺五寸と決めて差支へりません。竹支線とも上流端から下流に向つて百分の一(十間に一寸)から五百分の一(十間に一寸)の割合をつけておきます。排水口から始めて幹線へ進み、幹線から支線へ通るのですが、初めに一方の側へ土を掘り上げ、一本の幹線についで支線まで全部をすませた後、下流から心土を六、七寸づつ他の側に掘り上げ、三回ぐらゐ



(圖六第)



(圖七第)



(圖九第)

埋込み これは掘鑿の場合とは反対に支線の上流端から始め、先づ破用用の藁を一握りづつ、根元を左右互ひ違ひに、厚薄のないやうに敷き(第六圖)竹粗葉、土管などを伏せし、再び藁で蔽ひます。この際、土管、竹等ののき目は特に青松葉等でよく蔽ひ、流水の役目をさせます(第七圖、第八圖、第九圖)。竹管の場合は第十圖)このやうに、一きはり太い竹環でつなくし(第十圖)おきます。水漏れの恐れ、とくに地盤が下がらないやうに十分積み重ねてから直ちに掘を掘つけ、周囲を良質の粘土で踏み締め、上下流には三、四本づつの上管を結び、埋戻しも良質の粘土でやります(第十一圖)。

(圖八第)



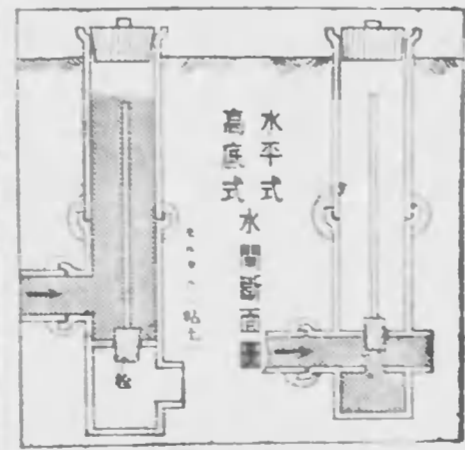
(圖十第)

埋戻し 材料を埋込んだら必ずその日のうちに第一回の埋戻し(厚さ四、五寸)を行ふのです。その方法は、材料の両側へ土を少しづつ入れ、材料が動かないやうに両足で十分ふみ固め(第十二圖)、次に二、三寸厚さに土を全體に入れ、元の地盤と密着するやうに踏み固め、溝が半分ぐらゐ埋つたら、そのまゝ二、三日おき、田面の乾き丁合や水門の状態などをよく調べ、異状がなければ残りの埋戻しをやりません。竹行後はかうした注意が必要。暗渠排水の事はやると耕地の状態が急に變るから、耕作の方法や肥料のやり方は注意しなければならませんが、水門の管理は特に重要です。これは特にその土地の性質等に明るい人が管理し、必ず勝手に閉鎖しな



(圖十一第)

いことです。水門の栓を閉める場合は上流から下流に閉め、開ける場合は下流から上流に開け、水門に水圧が加はらないやうに注意しなければなりません(第十三圖)。用水の十分な土地ではなるべく早く栓を閉め、地下水位を高めて代播にさしつかへないやうにし、稲作中は生育の状況により、時折り水門を開けて地下水を搾り出して、地温を上げ、湿かい用水や空気を土壤中に浸み込ませて暗渠排水の効果を上げることが肝要です。地下水のため肥料の分解を妨げられてゐたところでは、肥料の分解が促され、土の中に蓄へられてゐた肥料分が有効になるから、二、三年間は相當加減して窒素肥料を與へないと出来過ぎになることがあります。



(圖三十第)

(圖二十第)



土地改良で 三百万石を増産だ



(平均厚さ一寸位) 位置調整す
 容土の効果 さて客土をやつた
 効果はどうかといふと、その土地
 土地によつて異ひはありますが、
 一般には施行前の收穫量の少い所
 ほど増加は多く、増収の割合は一
 割から五割ぐらゐで、普通は二三
 割の増収は確實です。その他、品質
 がよくなり、種籾、除草等の作業が
 ずつとやりよくなること等も見逃
 すことの出来ない効果の一つです

小用排水
 水が過剰に増え加減できれば米
 の増産は疑ひないわけですが、この
 際になるのが灌漑排水です。小用
 排水といふのはこの灌漑排水設備
 を新設し、改良する事業の一つで、
 工事に使ふ主要資材がごく少くて
 すみ、工事も一、二ヶ年以内で完
 成できるし、受益面積も五百町歩

↑ 水溜池に満々と水がたへられた時こそ、小用排水
 は四圍の石に近い農果もさめられませう

↓ 下といふやうな小規模の灌漑排
 水設備の新設改良のことです。主と
 して努力だけで出来るやうな事業
 でなければなりません。これらの
 うち灌漑を目的としたものには
 用水路の新設改良、溜池の新設改
 良、井堰樋門、樋管の新設改良等
 が挙げられ、排水を目的としたも
 のには排水路の新設改良、小川
 の改修等ですが、土地改良事業の
 一つとして、これらの事業も施工
 されなければなりません

これらのうち用水路の新設改良
 溜池の新設改良等は小用排水として施
 工するに最も適當な事業です。次に
 溜池の改良の一つとして、堰堤の高上
 (高く造り直す)ことを長野縣小縣郡
 富士山村の實例をいませう

この村は昔から雨が少い上に土
 質が乾燥しやすいので、一年おきに
 は旱魃に見舞はれるため、水を絶つ
 ての争ひも多かったのですが、決
 り食糧増産の大戦果となりませう

↑ 下といふやうな小規模の灌漑排
 水設備の新設改良のことです。主と
 して努力だけで出来るやうな事業
 でなければなりません。これらの
 うち灌漑を目的としたものには
 用水路の新設改良、溜池の新設改
 良、井堰樋門、樋管の新設改良等
 が挙げられ、排水を目的としたも
 のには排水路の新設改良、小川
 の改修等ですが、土地改良事業の
 一つとして、これらの事業も施工
 されなければなりません

これによつて二十センチ高上げ
 した北ノ入池の受益面積は六百八
 十町歩、深溝によつて貯水量を二
 十四万六千立方メートルから三十
 万立方メートルに増す水溜池は二
 百段歩で、それ／＼段當り二十の
 増収が見込まれ、この總量は實に百
 七十六石にのぼるので、全く頼もし
 い食糧増産の大戦果となりませう



土の改良
 土が作物の生育に適
 しないやうな水田に、
 他方から適當な土を運
 び入れて土の性質を
 改良するのを客土と
 いひます

客土には土地の状況
 によつていろ／＼の種
 類がありますが、一番重要な必要と
 され、工事も簡單でかつ効果も多
 い土の改良、即ち補給の手法
 について述べてみます

客土の改良 これは土壌が砂地
 だつたり、砂が多くて水はけが良
 過ぎる上、したがつてすぐに旱上
 がつてしまつたり、折角やつた肥料
 も水と一緒に流されてどん／＼逃
 げてしまふといふやうな上に、他
 方から良質の土を運び入れて
 耕土に混ぜてやり、水分や肥料を
 土が保持して作物に養分を
 十分に改良するのと、この反対に
 耕土が硬質にかたよつてゐる、水
 分や養分の通りが難しく、したがつ
 て土の理化學的性質がよくない土
 には適當な分量の客土を入れてよく
 混ぜ、適當に水や養分の流通をよ
 くしてやることが必要な場合とが
 あるのです

これをやるには先づ粘土、砂土
 などを運ぶ場所から、荷、車、一輪手押
 車、馬車、土車、トラクタ、ケ
 ーブル、各種農具を利用して必要な土
 量をはかり、客土入れするのですが、土の
 質、時に運入れるとよ／＼混りませ
 んが、平均厚さ三寸ぐらゐの客土を
 する場合に、初めの年に一寸五分を
 入れ、翌年残りの一寸五分を入れると
 いふ方法の方が効果もあり、安全です

耕土の補給 耕土が淺過ぎるや
 うな場合、そこで作られる作物は
 健全な發育をすることは出来ませ
 ん。したがつて普通の厚さの耕土
 で栽培された作物にくらべると、
 穫れ高が少いことはもちろんとし
 て、葉や日照り、病虫害等にも
 やられ易いのです。このやうな土
 地に他方から耕土をもつてきて耕
 土の厚さを五、六寸ぐらゐにして
 やり、作物を健康に育てようとい
 ふのが耕土の補給です。これには
 もう一つ、雨、水、湖沼、河川
 の底などの泥土をよく乾かして
 堆肥に入れ、その土地を肥沃にす
 るといふ効果もあります。入れる
 土の分量は一回に段當り五、六坪

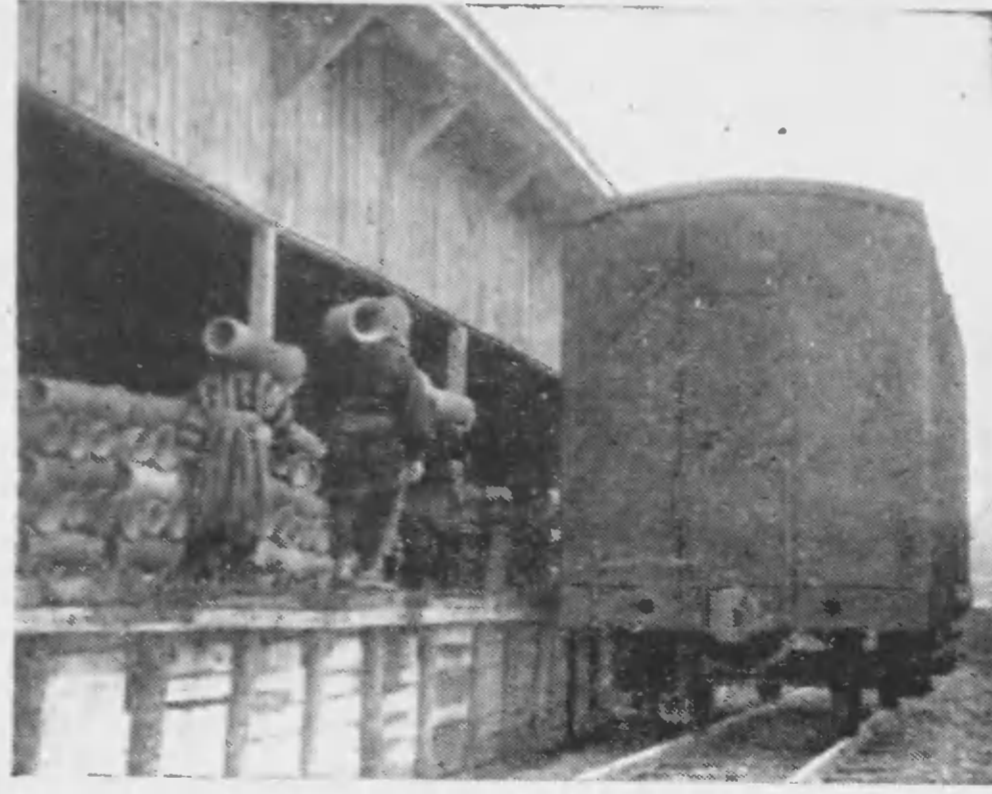


土地改良で 三百万石を増産だ 資材も労力も配備された

何としてでもやりぬかうと、いま全国に展開されたこの土地改良事業には、いふまでもなく相當の費用や資材や労力が必要だ。

だが今や食糧増産は一步も遅くことの出来ない重大な一線を確保せねばならないところまできてゐるので、これをやりぬくためには少くも、この不便不利があつても、粗朶、竹、藁など地元で間に合ふあらゆる材料を生かす、簡易暗渠を目標に農家の創意と工夫を生かして工事を迅速に完成させる。これが土地改良の最大の使命だ。

完成しなければなりません。そのためには政府も二億六千九百万圓の補助金を出したり、土管會社にも行炭の特別配給の特典の手配、或いは國有林の粗朶、竹の無償供與等と、あらゆる努力をばらひ、労力も少國民、學生生徒、婦人團體等の動員、或いは都市からの援軍派遣等と眞に官民一體、総力を挙げてその完成に邁進を續けてゐるので、資材不足を克服して土に挑むこの戦ひに勝ちぬくことこそ食糧増産の任務です。



粗朶、竹、藁など地元で間に合ふあらゆる材料を生かす、簡易暗渠を目標に農家の創意と工夫を生かして工事を迅速に完成させる。これが土地改良の最大の使命だ。

ヨイコ達の肩が土地改良工事に動員された。學生の腕も、女達の肩も、足も動員された。一途に食糧増産をめざすこの緊急工事を完成しよう。



るびのは渠暗の産増に地大の雪

野平狩石道海北



鉛色の空が切れても、風花がきびしく頬を
たたく。いつもより早く訪れた雪は二尺に
近く、気温は師走の中頃で、もう零下十度
に近いが、増産にむかふの努力を続ける
こゝ北海道札幌市東区の人達は、この寒
に、この寒さに、いま一徹が飛はねばなら
ぬ職ひを黙然と挑んでゆく

銅製品献納



響くなげ深い日本の兵隊さんのお役に立つこと
はないかと、南スマトラの小さなカンボン(村)では、
いろいろ考へた末、戦争に必要な銅製品をつつか
献納して協力しました。撮影 川島秋雄報道員

働くビルマ女性



日本のお姉さま方に負けず働きます。これが総動
員配置についたビルマ女性の決意です。ペー・モウ夫
人を先頭に、婦人奉仕隊や救護隊が活躍してゐる一方
ではあらゆる職種に女性が進軍してゐます

大東アツ子は手をつないで



これか日本の兄ちゃんの調査だよと、ボルネオのバ
ンジエラマン第一普通小学校のヨイコ達は、内地の
ヨイコ達から送られた贈り物かへて大喜び。大東アツ
ヨイコはみんな仲よくしませう。撮影 ボルネオ新聞社

放送戦にも勝利



「折様お元気ですか」マライ放送員の日本語もすつか
く扱ってききました。更に昭南放送局の弟分がク
アランプールに暮らし開校されました
すぐれた技術で、精巧な機械をくみ立て、すつかり

共榮園だより



わが方の手ででき上つた新放送局こそ、科学日本の輝
く大成果です
敵のデマを粉碎し、大東アツの各民族の心を一つに結
ぶ電波の力は、日にこ見えませんが全く力強く頼も
しい限りです

★表紙
風をあげて展開された土地改
良工事には、多々求まれない。
とも若きも女も子供も、お
ろりばたから、飯を、シヤベ
ルを擲つて起つた。東北、北
海道の水田に雪を除き、飯も
はねかへす程かん／＼に凍て
た大地に挑むその開墾。たい
明日の増産を目ざす努力に、
音々と工事は完成されてゆく

昭南日記

大東アツ戦争漫筆日記



チヤチル島



海國の春



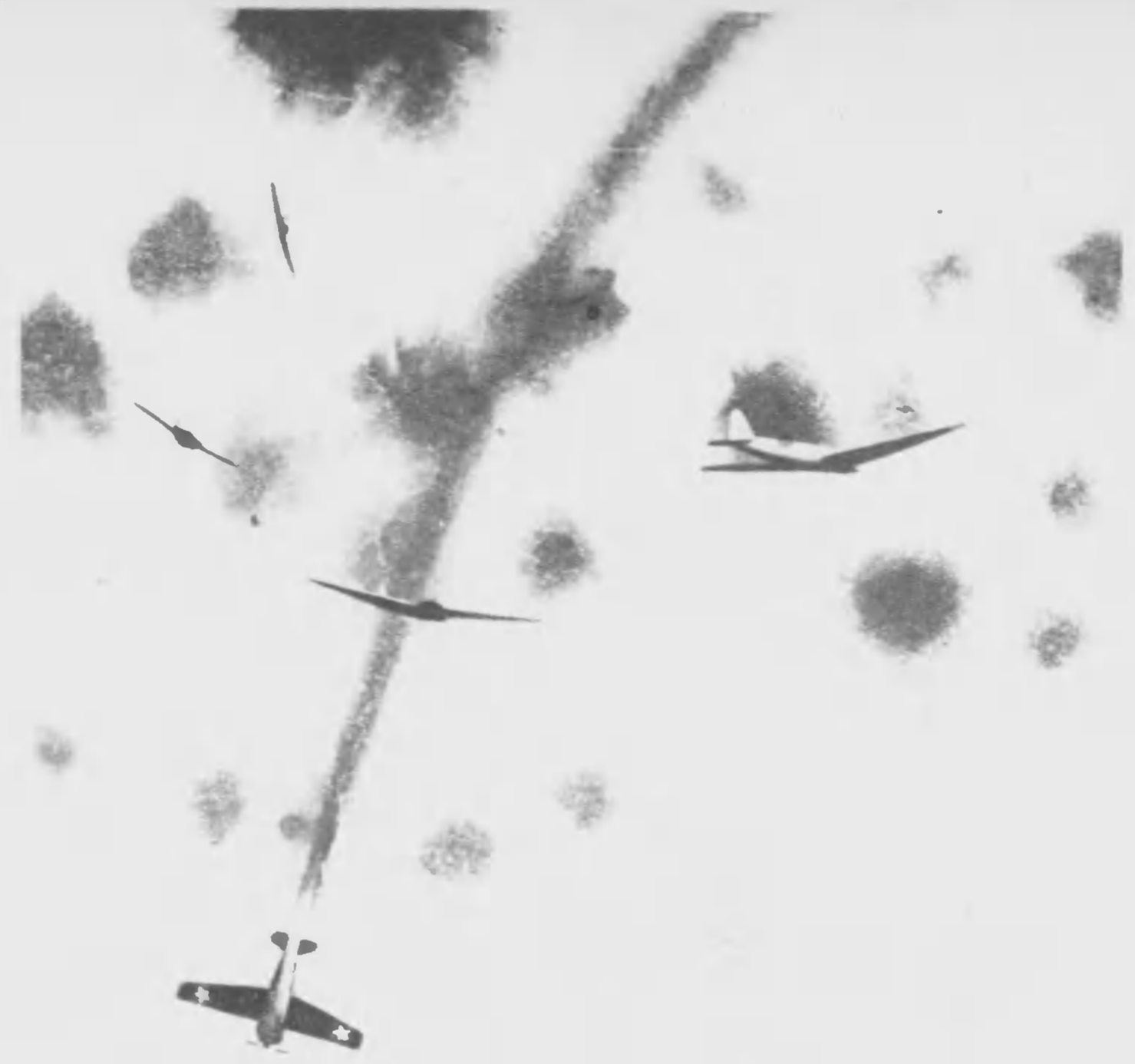
家畜大増産



富士秋晴



寫眞週報 昭和十九年一月十二日 印刷局發行 東京郵便局特准掛號認爲新聞紙類 第五〇四號



國民貯蓄で 勝利抜きか 東海銀行

— 本店 — 名古屋 —

寫眞週報
(禁斷轉載)

昭和十九年一月
十二日 印刷發行

編輯者
永田町 印刷局

印刷局
東京郵便局特准掛號
認爲新聞紙類

定價
一部十錢
(送料一錢)
外國郵送は依
る地域は送料
共一部十九錢
▲特大號の場合は
其の郵便印拂込
金より差額を申
受けます

所 達 申
全國各地官報
週報普及部
各書局・驛書店
新聞販賣店

本誌掲載の寫眞中、撮
影者名或ひは提供者名
を特記してゐないもの
は財団法人寫眞協會
の製作によるものです
又海軍関係の寫眞は
製は海軍省承認第五
二四二號です

本誌を回覧に
本誌を、隣組や職場
で回覧するなど出
来るだけ有効に利
用下さい

前線慰問にも
またお読みになつた
ら本誌を前線慰問に
送ります。送料は
内地と同様で封封あ
るひは開封にして第
三種と明記すれば、
一部一錢です

印刷局印刷發行

印刷局-A4所定定額はさき人の責任